



入隊の日



koberyol

入隊の日

「早実」の名称で現在親しまれている早稲田実業学校は、大隈重信によって明治34年4月に開講された。明治に創立以来、今日に至るまで数多くの卒業生を送り出した名門である。“早実”のその輝かしい歴史の中で、支那事変から太平洋戦争、昭和12年から終戦までの間、私は入学し、勉学と勤労奉仕、軍事訓練など特異な教育課程の中の混乱期でもあった。

今にして思えば、メダカの群れのようにゾロゾロと戦争の波に押し流され、本当のところ自分の志（こころざし）が本当にどこにあったのか、というところが正直なところ。人間は時を選んで生まれることができない。そして私はその時、17歳であった。

その17歳の少年が、一つしかない生命を困難に賭けることが日本人として使命であると真向かいから生きたいと考えたり、“神”から与えられた貴重な時間ではないのか、と自問自答したりした。

私は昭和19年、甲種飛行予科練習生の筆記試験を受験して、二次試験は、横須賀鎮守府から出頭通知書を昭和19年2月27日付で受理した。

二次試験の実施場所は、三重県の津市と松坂市のあいだに香良州町という半農半漁の町がある。そこには参集場所として、三重県軍港空隊、充実した施設と練習生の教育ぶりをみせるのが目的でか、19年3月16日から19日のあいだを二次試験としたように感じられた。それから次のような採用通知を受理した。

右海軍甲種飛行兵ニ採用徴募ス

派遣教育ノ為昭和十九年四月十日（土浦海軍航空隊在籍）

横 須 賀 鎮 守 府

「鎮守府とは純粹の軍隊組織である艦隊と異なって、軍令、軍政の両機能をかね備えた機関であったが実際のなかみは警備、防備戦隊など沿岸、近海で作戦する地味な内戦部隊であって工廠（こうしょう）や病院、軍需部門、経理部門、港務部門など軍政機関としての機能の方が組織として大きかった。従って鎮守府には、普通の艦隊にはない警備、運輸、教育とかいう幕僚がおかれていた」

（「海軍アドミラル軍制物語」より）

“光陰矢ノ如シという”。7月9日の出発の日が来て、日の丸の旗を両肩からタスキがけ、“早実”の校章の帽子をかぶり、町内の氷川神社の社殿の前で在郷軍人会の壮行会が行われた。町内会の人たちから祝福され、“バンザイ、バンザイ、バンザイ”の声の中、自治会の会長から手厚い挨拶があったことを覚えている。

壮行のお礼の言葉は不安と期待が交差して、何となく足が地に着いてなく頭の中は、うわの空だった。

自分の挨拶は何を言ったのか、言葉にならなかった。町内会の人たちと別れ、当日入隊する者は、渋谷区役所前の広場に参集のため移動した。

はやくも“早実”の級友のM君が中心になり、旗をふって多くの見送りの人たちが、予科練の歌、軍歌の声の中、渋谷区内から入隊する者のため、それぞれに祝福の声が渦巻いた。渋谷区の係りの人の音頭で、万歳三唱のあと、横須賀通信学校へ向け、渋谷駅にゾロゾロと押し流される。“早実”の級友たちとは、しぜんと別れ別れとなって淋しさがこみ上げて、引率者の「電車に乗って！」となる声、私は渋谷駅で車中の人となったのだった。

プラットホームではますます激しく軍歌がうたわれ、知った顔もなく、「ガンバレ！」という者、「バンザイ！」という者、「さようなら」という者、今は興奮の坩堝の中、電車の中は蒸し暑く全身ビッシヨリと汗をかいていた。

氷川神社で両親に、「さようなら」と言わなかった自分には孤独感がこみあげてきて涙がでてきた。そして親不孝者と思うと同時に、こんな言葉を思い出していた。「忠ナラント欲スレバ孝ナラズ孝ナラント欲スレバ忠ナラズ」という言葉を。

やがて横須賀線の特別電車は久里浜に到着した。

引率者の数人は志願者をまとめ、横須賀通信学校の校門内に誘導する。7月9日の真夏の太陽は校庭内のわれわれを容赦なく照りつけ、汗が限りなく吹き出すのだった。

東京から入隊した者、約300名は二時間、待機の姿勢で指示を待ち、立ったり、しゃがみこんだりするばかり。

炎天下で二時間半待った。そしてやっと兵舎に入ることができたのだった。

水が欲しい、喉から手が出るほど水が欲しい、と思った。

甲種飛行予科練習生、いわゆる予科練は、「飛行機を操縦する技能は、年少の時期に訓練した方が上手だったら能率が上がる」と海軍の上層部は考えたようだ。

昭和五年からこの計画をはじめたといわれる。日本海軍部内に異常な危機意識が芽生えたのは、船より空へ、すなわち航空機の大増強へと転換した頃だ。

旧制高等小学校を卒業した15歳から17歳までの春から試験して採用した。やがて年齢制限を15歳から18歳までとする。この予科練に採用した人数は、開戦の年（昭和16年）までに合計11275人、若い予科練出身者が身を挺して海軍航空を支え、太平洋戦争で活躍したか、目に見えるようである。